

ひかりとは例えば

ほったりと涙の落ちたところから私は少し色濃くなった

ひだまりの香りに満ちた鳥籠をぎぶりとぎぶりと洗う日曜

庭先にあすなろの木が揺れている君の羽ばたきみたいな音で

サキサキとセロリ噛みいて幼鳥は小さな音楽家となってゆく

空も風も知らず私の手のひらを君は優しい堤防にした

思い切り喋りたくなる夕つかた空と心の濁りが合えば

かぶきゅうのきゅうと深夜のラジオ聴く世界の音がぜんぶ丸まる

どうしても生きているから私たち 息するだけで羽毛は揺れる

触れられて目覚める朝(あした)ひかりとは例えば君の嘴のこと

涙痕を携え歩く街並みはジューシーハンバーグを香らせて